



たんぽぽぐみだより



2025年度 3月号

尚徳福社会 おぐら保育園

太陽の日差しがポカポカと暖かく感じる季節になってきました。クラスで過ごすのもあと少し。出会いあり、別れがある春ですが、子どもたちにとっては新しい生活にドキドキ、ワクワク期待が膨らむ春となることでしょう。



☆ゆりぐみになったら☆

4月からはゆりぐみに進級するというで、子どもたちに心境を聞きました。ほとんどの子が『楽しみ』という声が聞かれましたが、数名は『なんかドキドキする』と不安な表情を見せる子がいました。担任が『大丈夫だよ』と声をかけようとしたのですが、子ども同士で『大丈夫だよ』『失敗しても大丈夫。みんなで助け合っていこう』という声が聞かれ、一年間で頼もしくなったなと感じました。担任として、嬉しい成長ですが、少し寂しい感情もありました。

だいすきなこどもたちへ

ゆりぐみでも、じぶんをたいせつにしながらも、ともだちと、たすけあってすごしてください。いちねんかんたのしかったよ！！

☆ドッジボール☆

一年間を通して、ドッジボールを愛してきた子どもたち。朝登園をすると挨拶よりも先に『今日ドッジボールする？』を楽しみにしていました。最初の頃は、ルールを覚えるのに時間がかかりましたが、今ではどのようにしたら強いボールを投げられるのか？どのようにしたらうまくボールをキャッチできるのかを試行錯誤試しています。これからも、全員で楽しくドッジボールをしてくれればと思います。

☆成長発表会☆

当日はちょっぴり緊張の表情でしたが、幕があげると笑顔が見られ楽しそうにしていました。一人一人が自己発揮する様子に成長を感じました。発表会が終わってからは『ママ感動して泣いていたんだよ』『頑張ったねって褒めてもらったよ』など嬉しそうに教えてくれました。自信が新たな意欲・活力となってくれると思います。温かい応援や拍手をありがとうございました。また、お父さんお母さんのダンスとても素晴らしかったです。

ご参加ありがとうございました。

☆新鶴見公園☆

ゆり組と新鶴見公園に行きました。公園までの道のりでは、サイゼリアなどを見つけると『ここきたことあるー』『〇〇おいしいんだよ』と話していました。公園に着くとすべり台が大人気。一人ですべったり、友だちと一緒にすべったりと楽しんでいました。また、公園内を探索する子が多く、霜柱を見つけたり電車を眺めたりしていました。保育園に戻る時間になると『もっと遊びたい』という子が多かったのですが『給食が待っているよ』と伝えると『お腹すいたから帰ろう』とすぐに気持ちを切り替えて保育園に戻りました。

元気いっぱいの子もたちと一年を過ごせたこと、子どもたちの成長を保護者の皆様と一緒に見守れたこと、嬉しく思います。至らぬ点も多々あったかとは思いますが、保護者の皆様の温かいご理解とご協力をいただきまして一年過ごすことができました。これからの子どもたちの成長を楽しみにしています。

一年間ありがとうございました。